



津山工業高等専門学校校報

第 1 1 5 号 平成 1 9 年 9 月 2 0 日 発行
(平成 1 9 年 4 月 1 日 ~ 平成 1 9 年 7 月 3 1 日)

目 次

校内諸規則

津山工業高等専門学校人事推薦委員会規程の一部を改正する規程（規程第 4 号） -	2
津山工業高等専門学校学科改革推進特別委員会規程（規程第 5 号） -----	2
人事異動 -----	3
主要日誌 -----	7
諸 報 -----	8
就業規則等の改正-----	8
名誉教授称号授与-----	10
平成 1 9 年度入学式-----	10
平成 1 9 年度公開講座-----	11
平成 1 9 年度科学研究費補助金の決定-----	12
受託研究-----	12
共同研究-----	13
寄附金-----	13
人間ドックの実施-----	14
平成 1 9 年度リーダー研修-----	14
新入寮生避難訓練-----	14
指導寮生研修会-----	14
リサイクル研修会-----	14
津山高専技術交流プラザ総会開催-----	15
フレッシュマンミ - ティング-----	15
第 5 4 回美作地区高等学校総合体育大会-----	15
平成 1 9 年度中国地区高等専門学校執行長会議-----	15
北辰寮後援会・寮生会・寮務委員会の懇談会-----	15
米国ペンシルベニア・カレッジ・オブ・テクノロジー - 来校 -----	15
学生募集（専攻科推薦入試）-----	15
第 1 回 F D 研修会-----	16
学生募集（専攻科前期学力入試）-----	16
救急処置実技講習会-----	16
第 4 3 回中国地区高等専門学校体育大会-----	16
オープンテクノ開催-----	17
教務 F D 研修会-----	17

校内諸規則

- 1 制定番号 規程第4号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校人事推薦委員会規程の一部を改正する規程
- 3 制定年月日 平成19年5月29日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 阿部 武治
- 5 改正理由 委員会組織構成の見直しを図るため。

津山工業高等専門学校人事推薦委員会規程の一部改正新旧対照表

新	旧
<p>第1条及び第2条 省略 (組織)</p> <p>第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 校長 (2) 教務主事 (3) <u>当該専攻の教授又は一般科目の教授</u> 若干名 (4) <u>その他の専攻の教授</u> 1～2名 <p><u>2 前項にかかわらず、専門学科間で弾力的に運用を行う教員人事については次の各号に掲げる者をもって組織する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) <u>校長</u> (2) <u>教務主事</u> (3) <u>各専門学科の学科主任</u> <p><u>3 前2項にかかわらず、非常勤講師については次の各号に掲げる者をもって組織する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) <u>校長</u> (2) <u>教務主事</u> (3) <u>各該学科主任</u> <p><u>4 前3項にかかわらず、校長が必要と認めるときは、その他の教授を委員とすることができる。</u></p> <p>第4条及び第5条 省略 <u>附 則</u> この規程は、平成19年5月29日から施行する。</p>	<p>第1条及び第2条 同左 (組織)</p> <p>第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 校長 (2) 教務主事 (3) <u>当該学科の教授</u> 若干名 <p><u>2 校長が必要と認めるときは、関連学科の教授を委員とすることができる。</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>第4条及び第5条 同左</p> <p>_____</p> <p>_____</p>

津山工業高等専門学校規程第5号

津山工業高等専門学校学科改革推進特別委員会規程を次のように定める。

平成19年5月29日

津山工業高等専門学校長 阿部 武治

津山工業高等専門学校学科改革推進特別委員会規程

(目的)

第1条 津山工業高等専門学校に、社会環境の変化を踏まえた学科改革を推進するため、津山工業高等専門学校学科改革推進特別委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 学科改革に関する事項
- (2) 各分野の教員の配置に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 校長
- (2) 教務主事
- (3) 専攻科長
- (4) 学科主任
- (5) 将来構想委員会委員長
- (6) その他校長が必要と認めた者

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、校長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(意見聴取)

第5条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事務)

第6条 委員会に関する事務は、総務課において処理する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成19年5月29日から施行する。

人事異動

個人情報を含むため公開せず。

主要日誌

- 4月1日 開寮
2日 外部評価点検委員会，学生生活委員会，着任式
3日 教員会議，教務委員会，寮務委員会，専攻科運営委員会
5日 学術情報委員会
9日 入学式・専攻科入学式，後援会総会，入寮式・北辰寮後援会総会，
10日 産学連携推進委員会，新入生歓迎会
12日 健康診断
13日 健康診断
14日 リーダー研修会
16日 外部評価点検委員会
17日 教務委員会，寮務委員会・新入寮生歓迎スポーツ大会，健康診断，進学手続説明会
18日 主事会議，新入寮生避難訓練，健康診断
20日 学生生活委員会
21日 指導寮生研修会
23日 寮生リサイクル研修会
24日 運営会議，学外実習説明会
25日 健康診断
26日 名誉教授称号記授与式，寮生総会，健康診断
27日 外部評価点検委員会，健康診断
- 5月1日 学生総会
8日 教員会議，安全衛生委員会
9日 フレッシュマンミ - ティング，健康診断
10日 健康診断
11日 専攻科運営委員会，健康診断
12日～13日 美作地区高校総体，中国地区高専執行長会議
14日 外部評価点検委員会
15日 産学連携推進委員会，入学試験委員会，健康診断
16日 春季校内スポーツ大会
17日 健康診断
19日 北辰寮後援会・寮生会・寮務委員会との懇談会，寮祭（暁祭）
22日 教務委員会，寮務委員会，学生生活委員会，健康診断
23日 主事会議
28日 専攻科運営委員会(拡大)，平成20年度専攻科推薦入学者選抜試験
29日 運営会議，主事会議
30日 健康診断
- 6月1日 専攻科運営委員会，教育研究支援委員会
2日～3日 岡山県高校総体
5日 教員会議
5日～8日 臨時運営会議（メール会議）
7日 福利厚生委員会
11日 臨時教員会議，学科改革推進特別委員会
12日 第1回FD研修会

- 13日 普通救命講習
- 14日 平成20年度専攻科前期学力入学者選抜試験
- 15日 専攻科運営委員会(拡大)
- 19日 教務委員会,安全衛生委員会,寮務委員会,学生生活委員会,交通安全講習会
- 20日 救急処置の実技講習会(新入寮生)
- 21日 主事会議
- 26日 運営会議,交通安全講習会
- 29日 中国地区高専体育大会参加説明会
- 7月2日 専攻科運営委員会
- 3日 中国地区高専体育大会壮行会,校内外清掃,寮一斉清掃
- 6~8日 第43回中国地区高専体育大会
- 9~11日 寮生バスケットボール大会
- 10日 教員会議,交通安全講習会
- 12日 寮務委員会
- 13日 主事会議
- 17日 臨時教員会議,学科改革推進特別委員会,産学連携推進委員会,進路支援委員会
- 17日~20日 臨時運営会議(メール会議)
- 19日~27日 臨時運営会議(メール会議)
- 24日 教務委員会,学生生活委員会
- 25日 外部評価点検委員会,将来構想委員会
- 26日 第2回FD研修会
- 27日 学科改革推進特別委員会

諸 報

就業規則等の改正

独立行政法人国立高等専門学校機構規則(下記)が平成19年4月に改正された。

- 組織に関する規則(第1号)
- 本部事務部の組織等に関する規則(第4号)
- 教職員就業規則(第6号)
- 教職員給与規則(第8号)
- 教職員労働時間,休暇等に関する規則(第9号)
- 非常勤教職員就業規則(第11号)
- 非常勤教職員給与規則(第13号)
- 教職員退職手当規則(第17号)
- 教職員休職規則(第18号)
- 教職員の育児休業等に関する規則(第19号)
- 教職員の介護休業等に関する規則(第20号)
- 学生寮教職員宿日直規則(第21号)
- 教職員再雇用規則(第24号)
- セクシュアル・ハラスメント防止等に関する規則(第26号)
- 教職員の兼業に関する規則(第27号)
- 教職員安全衛生管理規則(第31号)

- 宿舎規則（第 3 3 号）
- 旅費実施細則（第 5 0 号）
- 旅費取扱規則（第 5 1 号）
- 理事長が有する権限等の一部委任に関する規則（第 5 7 号）
- 主事等の任免に関する規則（第 6 1 号）
- 教職員法定外災害補償規則（第 6 4 号）
- 有期雇用教職員の範囲に関する規則（第 7 4 号）
- 教職員の自己啓発等休業に関する規則（第 7 5 号）

改正の概要（抜粋）は下記のとおり。

教職員就業規則（第 6 号）

- 1) 期間を定めて雇用する常勤の教職員についても適用されることになった。
（従前は規定されていなかった。） 【第 2 条第 2 項】
- 2) 退職事由に雇用期間が満了した場合が追加された。 【第 20 条第 5 項】

教職員給与規則（第 8 号）

- 1) 管理職手当が定額化された。 【第 23 条】
- 2) 扶養手当について 3 人目以降を 5,000 円から 6,000 円とすることになった。 【第 24 条】
- 3) 広域異動手当が新設された。 【第 25 条の 2】
- 4) 教員特殊業務手当の支給対象者が拡大された。
（教授及び准教授も支給対象となった。） 【第 29 条】

教職員労働時間，休暇等に関する規則（第 9 号）

- 1) 自己啓発等休業（大学院進学及び国際貢献）が新設された。 【第 28 条】

非常勤教職員就業規則（第 1 1 号）

- 1) カウンセラーの職名が追加された。 【第 2 条第 3 項第 13 号】
- 2) 雇用可能な年齢の制限が撤廃された。 【第 8 条】

非常勤教職員給与規則（第 1 3 号）

- 1) 日給及び時間給が適用される本給表毎に統一化された。 【第 2 条及び別表】

教職員退職手当規則（第 1 7 号）

- 1) 外部資金等により雇用された教職員は支給しないことになった。
【第 2 条第 1 項第 4 号】
- 2) 自己啓発等休業による勤続期間は除算されることになった。
【第 9 条第 3 項】

教職員の育児休業等に関する規則（第 1 9 号）

- 1) 育児部分休業の範囲が 3 歳から小学校修学時期に拡大された。 【第 13 条】

教職員再雇用規則（第 2 4 号）

- 1) 短時間勤務再雇用教職員の翌年以降年次有給休暇付与日数は，1 週間の労働日数に応じて付与されることになった。 【第 10 条第 2 項】

教職員の兼業に関する規則（第27号）

- 1) 適用範囲に再雇用教職員が追加された。【第1条第2項】
- 2) 営利企業の兼業は、技術移転事業者及び研究成果活用企業の役員、株式会社等の監査役、営利活動以外の事業の役職員について、一定の範囲内で許可できることになった。【第4条】
- 3) 自営の兼業は、遺贈等による場合及び不動産の賃貸等について、一定の範囲内で許可できることになった。【第16条及び第17条】
- 4) 営利企業以外の団体の兼業は、一部の役職を除き許可できることになった。【第19条及び第20条】
- 5) 短期間（1日又は6日以内）の兼業については、許可を要しないことになった。【第27条】
- 6) 営利企業以外の団体の兼業のうち、国、地方自治体、独立行政法人等の役職を兼ねる場合及び教育等に関する兼業については、無報酬のときに限り、職務として労働時間内に兼業ができることになった。【第29条】
- 7) 校長の兼業（国等を除く。）については、学校運営時間に係らない場合は許可できることになった。【第30条】

宿舍規則（第33号）

- 1) フルタイム再雇用教職員についても貸与できることになり、この場合の宿舍料は通常の1.5倍の額とすることになった。【附則第2条】

その他、職名に関して助教授から准教授に変更及び助教の追加等、語句等の整理がされた。

名誉教授称号授与

次のとおり名誉教授の称号が授与された。

授与年月日：平成19年4月1日
被授与者：柴田政勝

平成19年度入学式

平成19年度入学式が次のとおり挙行された。

編入学生（4年次編入）

日時 平成19年4月9日（月）9時～
場所 特別会議室
編入学者 機械工学科 1名
電気電子工学科 1名
電子制御工学科 1名
情報工学科 2名
合計 5名

留学生（3年次編入）

日時 平成19年4月9日（月）9時～
場所 特別会議室
編入学者 機械工学科（マレーシア） 1名
電気電子工学科（マレーシア） 2名
電子制御工学科（マレーシア） 2名

情報工学科(ベトナム) 1名
 " (モンゴル) 1名
 合計 7名

専攻科

日時 平成19年4月9日(月)9時~
 場所 会議室
 入学者 機械・制御システム工学専攻 8名
 電子・情報システム工学専攻 9名
 合計 17名

本科

日時 平成19年4月9日(月)10時~
 場所 第2体育館
 入学者 機械工学科 42名
 電気電子工学科 42名
 電子制御工学科 44名
 情報工学科 44名
 合計 172名

平成19年度公開講座

平成19年度の公開講座は8講座を予定している。

講座名	期間	対象	募集人員	備考
作ろう・飛ばそうモデルロケット	7月30日～8月1日 (3回)	小・中学生	15	
サッカーロボットを作ろう	8月1日～3日 (3回)	小・中学生	20	
レスキューロボット・ミニ	7月30日～8月1日 (3回)	小・中学生	20	
ミニ・バドミントン教室	5月26日～11月10日 (6回)	小・中学生	20	
楽しい数理科教室	8月21日～23日 (3回)	小学5年以上, 中学生	20	
一般教養講座	7月21日～11月10日 (6回)	一般(制限無し)	30	
English for Communication	6月1日～7月20日 (8回)	一般	20	
パソコンを活用した情報発信	7月27日～8月5日 (6回)	一般(高校生以上)	20	岡山県との共催

平成19年度科学研究費補助金の決定

- 1 職 名 一般科目・教授
氏 名 大田 肇
研究種目 基盤研究(C)
補助金額 800,000円(直接経費)(継続・3年計画の最終年度)
240,000円(間接経費)
研究課題名 イギリス軍事法における1990年代後半以降の「司法化」の進展と今後の展開

- 2 職 名 一般科目・教授
氏 名 稲田 知己
研究種目 基盤研究(C)
補助金額 700,000円(直接経費)(新規・3年計画の初年度)
210,000円(間接経費)
研究課題名 技術哲学の新歴史主義的研究 - カッシーラー・三木・ハイデッカーの1930年代開発

- 3 職 名 機械工学科・教授
氏 名 吉富 秀樹
研究種目 基盤研究(C)
補助金額 1,800,000円(直接経費)(新規・2年計画の初年度)
540,000円(間接経費)
研究課題名 プール排水口事故を防ぐための渦室付配水管の研究開発

- 4 職 名 情報工学科・助教
氏 名 曾利 仁
研究種目 若手研究(B)
補助金額 500,000円(直接経費)(新規・2年計画の初年度)

研究課題名 インテリジェントシステムを用いた風速予測法開発の基礎研究

- 5 職 名 技術専門職員
氏 名 中尾 三徳
研究種目 奨励研究
補助金額 720,000円

受託研究

研究題目 高炉スラグと廃プラスチックを用いた炭素/コンクリート複合材開発
研究委託者 財団法人岡山県産業振興財団
研究担当者 電子制御工学科 准教授 奥山 圭一
経 費 4,912,873円
研究期間 平成19年6月1日～平成20年2月29日

研究題目 衝撃特性に優れた超高強度低合金TRIP鋼の開発
研究委託者 財団法人岡山県産業振興財団
研究担当者 機械工学科 助教 北條 智彦
経 費 1,501,962円
研究期間 平成19年6月20日～平成20年2月29日

研究題目 電磁アクチュエータを用いた微細作業支援装置の開発
研究委託者 財団法人岡山県産業振興財団
研究担当者 電子制御工学科 准教授 野村 健作
経 費 363,017円
研究期間 平成19年6月20日～平成20年2月29日

共同研究

研究題目 すべり案内の低摩擦係数化に関する研究
共同研究員 (株)滝澤鉄工所 三宅 成人
本校担当者 機械工学科 教授 小西 大二郎
経 費 750,000円
研究期間 平成19年5月7日～平成20年3月31日

研究題目 蛍光ランプ寿命予測技術に関する研究
共同研究員 松下電工(株)神田 隆司
本校担当者 電気電子工学科 教授 植月 唯夫
経 費 750,000円
研究期間 平成19年6月8日～平成20年3月31日

寄附金

寄 附 者 東芝照明プレシジョン株式会社
寄附の目的 植月 唯夫の教育研究助成
寄附年月日 平成19年4月10日
寄 附 金 額 500,000円

寄 附 者 津山圏域工業会
寄附の目的 津山工業高等専門学校における研究の奨励
寄附年月日 平成19年5月15日
寄 附 金 額 100,000円

寄 附 者 津山高専技術交流プラザ
寄附の目的 津山工業高等専門学校における研究の奨励
寄附年月日 平成19年5月15日
寄 附 金 額 300,000円

寄 附 者 津山高専技術交流プラザ
寄附の目的 津山工業高等専門学校における研究の奨励
寄附年月日 平成19年5月15日
寄 附 金 額 150,000円

寄 附 者 ハリソン東芝ライティング株式会社
寄附の目的 植月 唯夫の研究助成
寄附年月日 平成19年5月16日
寄 附 金 額 800,000円

寄 附 者 北辰寮後援会
寄附の目的 北辰寮教育活動助成
寄附年月日 平成19年6月22日
寄 附 金 額 100,000円

寄附者 津山工業高等専門学校後援会長
寄附の目的 教育活動助成・進路支援充実費，学生用図書購入費及び図書館充実費の助成
寄附年月日 平成19年7月9日
寄附金額 5,000,000円

寄附者 奥山 圭一
寄附の目的 奥山 圭一の研究助成金
寄附年月日 平成19年7月9日
寄附金額 245,000円

寄附者 財団法人ウエスコ学術振興財団
寄附の目的 鳥家 秀昭の研究成（渡航費）
寄附年月日 平成19年7月24日
寄附金額 100,000円

人間ドックの実施

文部科学省共済組合では，平成19年度人間ドック助成事業として次のとおり人間ドックを実施する。

対象 : 満年齢35歳以上（平成19年4月1日現在）の組合員及び組合員の被扶養者である配偶者

実施期間 : 平成19年6月～平成20年1月

なお，平成19年度から申込方法が変更になり，組合員は文部科学省共済組合ホームページから利用の申込みを行うものとなり，被扶養配偶者及びホームページを閲覧できる環境にない者については，FAXによる申込受付も行うこととなった。

平成19年度リーダー研修

4月14日（土），本校合併教室及び研修施設を利用し学生56名の参加のもと開催された。これは，学生の指導的立場にある学生会役員と各運動部・文化部の代表者が一堂に会し，本研修を通じてリーダーとしての意識の高揚，各部間の理解と融和を図ることを目的とし毎年開催している。

新入寮生避難訓練

4月18日（水），北辰寮では，入寮後早期に，緊急時の迅速な避難をさせるため，新入寮生の避難訓練を実施した。

1年生及び編入生の97名の新入寮生は，第4寮2階・3階の窓から緩降器（オリロー）を使用して1人ずつ順番に1階までの降下訓練を行った。いつもは，男子学生のための降下訓練であったが，今年は，女子学生もチャレンジした。

指導寮生研修会

4月21日（土），寮生活会役員及び寮務委員が，寮生活の問題点を検討することにより，寮の健全な運営を図り，寮生相互の理解を深めるための研修会を実施した。

研修会では，寮の美化と寮祭実行委員会について熱心に討議を行った。

リサイクル研修会

4月23日（月）19時30分から合併教室において，正しいゴミの分別，リサイクル資源についての研修会を実施した。

新入寮生を対象に、講師の津山市環境生活部環境事業課 ごみゼロ推進課係長から、「リサイクルからゴミの減量へ」と題しての講演及びビデオ紹介があり、資源環境型社会とするためにはどのように取り組んでいくべきか活発な質疑応答がなされた。

津山高専技術交流プラザ総会開催

4月26日(木)午後6時から、本校会議室において平成19年度津山高専技術交流プラザ総会が開催され、産学交流の活性化を柱とする事業計画等が承認された。その後、第1回の交流会が開かれ、「人形峠環境技術センター」の廃棄設備の活用について意見交換を行った。

フレッシュマンミ - ティング

5月9日(水)19時30分から第二体育館において、入学後間もない寮生の精神的なストレスを和らげ、また、学習相談、支援、健康相談の充実を目指した、メンタルヘルス支援体制の一環として実施した。

第54回美作地区高等学校総合体育大会

5月12日(土)・13日(日)の2日間にわたり開催された第54回美作地区高等学校総合体育大会に、15高校・高専が参加し、本校からは男子13種目に参加し、総合6位の成績であった。

各部毎の成績(3位以上)は次のとおり

男子の部	水泳	第1位
	卓球	第2位
	ハンドボール	第2位
	ラグビー	第3位
	硬式野球	ベスト4(準決勝以降中止)

平成19年度中国地区高等専門学校執行長会議

5月12日(土)・13日(日)の2日間、中国地区8高専から学生会執行部役員が参加し、徳山高専を当番校に徳山市で開催され、本校から学生会長他3名が参加した。

北辰寮後援会・寮生会・寮務委員会の懇談会

5月19日(土)、北辰寮後援会役員・寮生会役員・寮務委員が、寮の在り方について率直に話し合い、相互の理解を深めるとともに、有意義で豊かな寮生活を送るための施策につなげようとの趣旨で懇談会を実施した。

寮生会からの活動報告に続き、後援会及び寮生会からそれぞれの要望や意見交換があり、活発で和気あいあいの懇談が行われた。

米国ペンシルベニア・カレッジ・オブ・テクノロジー - 来校

6名の来校者が本校関係者のホストファミリーの協力により、5月21日(日)から27日(日)の短い間であったが、各種行事への参加・授業見学・市内の名所巡り、弓道体験・和紙と竹細工の手作り体験・奥津温泉での親睦・広島市の平和公園と宮島の見学等々のスケジュールで、日本の文化・本校の教育研究等の体験見学を実施した。

学生募集(専攻科推薦入試)

5月28日(月)本校において、平成20年度専攻科推薦入学者選抜試験を実施し、選抜の結果、5月31日次のとおり合格者を発表した。

(志願・合格状況は次のとおり)

志願者数 18名
(機械・制御システム工学専攻9名, 電子情報システム工学専攻9名)
合格者数 18名
(機械・制御システム工学専攻9名, 電子情報システム工学専攻9名)

第1回FD研修会

6月12日(火) 15時30分から合併教室において3名が下記のテーマで発表した。

1. 「津山高専の国際交流活動の経緯、問題点と解決策」(下西教員)
2. 「About an international exchange activity seen from an American teacher」
(Rambo教員)
3. 「国際交流活動の新たな試み」(奥山教員)

学生募集(専攻科前期学力入試)

6月14日(木)本校において、平成20年度専攻科前期学力入学者選抜試験を実施し、選抜の結果、6月19日次のとおり合格者を発表した。

(志願・合格状況は次のとおり)

志願者数 22名
(機械・制御システム工学専攻10名, 電子情報システム工学専攻12名)
合格者数 11名
(機械・制御システム工学専攻4名, 電子情報システム工学専攻7名)

救急処置実技講習会

6月20日(月)第2体育館において、怪我、急病における救急処置の実技講習会及びAED(自動体外式除細動器)の操作方法を1年生及び・編入生・寮生会外を対象に実施した。

講師には、津山圏域消防組合の救急救命士を迎え、不測の事態の対処方法をみにつけるためにダミー人形相手の人工呼吸や心臓マッサージ・AEDの使用方法等の実技等、全員熱心に体験した。

第43回中国地区高等専門学校体育大会

7月6日(金)から8日(日)の3日間にわたり、徳山高専を主幹校に呉高専及び大島高専を協力校として、第43回中国地区高等専門学校体育大会が開催され、本校学生は参加各競技に奮闘し優秀な成績を収めた。また、各種目の上位入賞者は8月18日から26日まで四国地区で開催される第42回全国高等専門学校体育大会に出場することとなった。大会結果は次のとおり(3位以上を記載、印は全国大会出場)

団体の部

- 第2位 剣道
テニス
第3位 ソフトテニス
バドミントン

個人の部

- 陸上競技
第3位 重成有紀(1500m)
平井智士(5000m)
第4位 中元聡志(砲丸投げ)

柔道
第2位 坂手康弘(73Kg級)

剣道
第2位 絹田裕樹

水泳
優勝 宇田康生(200m平泳)
宇野陽介(200m背泳)

第2位 宇田康生(100m平泳)
宇野陽介(100m背泳)

テニス(女子)(ダブルス)
第2位 見上博美・石本梨恵
同(女子)(シングルス)
第3位 見上博美

バドミントン(ダブルス)
第3位 小池佳央・井上和哉
同(女子)(シングルス)
第3位 西本安里

オープンテクノの開催

7月24日(火)に地域共同テクノセンターの設備・機器を地域企業に公開する「オープンテクノ」を開催した。

今回が初めての開催で、企業から14名の参加者があり、「電子顕微鏡による材料の成分分析」、「金属材料の機械的強度試験」、「3次元CADによる製図とCAE解析」、「3次元造形関連 機器の体験」の4テーマで、本校教員が当センターの設備・機器の紹介を行った。

第2回FD研修会(教務委員会特別企画)

7月26日(木)15時30分から、合併教室において、教務委員会特別企画として本年度第2回FD研修会(テーマ:留年・退学者減少に対する取り組みの点検と課題)を開催した。

ここ数年、課題として取り組みながら増傾向にある『留年・退学者数』の問題について、平成18年度には、「留年・退学者数半減」及び「1日2時間の自己学習」をスローガンに、それぞれの立場・場面で種々の取り組みを行ってきた。これらの取り組みの事例として次の3題についての実状報告を受けて、参加者全員でそれぞれの取り組みに対する点検及び課題について議論できたことは、今後の進むべき道を模索・認識することができる意義深い研修会であった。

事例報告等(3題)

『留年・退学に対する機械工学科の取り組みについて』(佐藤紳教員)

『平成18年度留年・退学者の実態調査』(野村教務主事補)

『卒業生の教育水準の確保と留年・退学者数の削減に対応した教育システム』(最上元教育課程検討特別委員会委員長)

発行 津山工業高等専門学校
発行年月日 平成19年9月20日